



みんなの力で 「郷づくり」^{さと} ⑤7

市郷づくり支援課(津屋崎庁舎) ☎52・4913
メール sato@city.fukutsu.lg.jp



自主防災・減災対策の事例紹介

「若木台5区自主防災会」、「郷づくり神興東」コミュニティの取り組み

区に8人の防災委員

神興東小学校区にある若木台5区は、310世帯、人口770人、高齢化率35%の住宅団地です。この若木台5区自治会に、3年前「自主防災会」が結成されています。構成は、自治会五役と19人の組長、8人の防災委員です。現在は会合と広報「自主防災会便り」の毎月発行ですが、今後は自治会との連携のもと、AED・救命救急講習会の実施、危険箇所調査、災害時要援護者リスト作成やその支援体制づくりなど、一歩ずつ着実に組織の充実と強化を図っていききたいとこのことです。

組織継続の要となっているのが、複数年携わる8人の防災委員です。防災委員は、防災・減災の知識を深め、スキルアップに努力をして自主防災会の継続に貢献しています。

神興東小において、地震対策講習会を開催

郷づくり神興東コミュニティ防犯防災部会では、昨年度、地震発生装置

車を国土交通省から借り、震度7の体験搭乗講習会を実施しました。今年度も、指定避難場所である小学校で、第3回地震対策講習会を11月に開催予定です。

「自分たちの地域は、自分たちで守るための対応策を予め準備することが急務と思います」



水田 勝さん

・若木台5区自主防災会防災委員
・郷づくり神興東コミュニティ防犯防災部会

私たちの平穏な暮らしのすぐそばに「西山断層帯」があります(津屋崎から飯塚までの31キロ)。校区住民の安全安心を守るには、校区内の13自治会、民生・児童委員、消防団、学校、医療機関、福祉団体、行政などで意見交換、相互支援体制づくり、連携強化を行い、多岐にわたる予想されることを着実に準備する必要があると思っています。

地震発生後3日間のための 備蓄

公的機関による物資支援や救助が来るまでの3日間、自助と共助を意識した備えが必要です。水田さんは自身の実践をこう語ってくれました。「16年前の阪神・淡路大震災のニュースを見て即、家族会議(4人)を開き、地震対策を実行しました。災害時必要品目を列挙して、100以上の品物リストを作成し準備、家の倉庫などに分散して保管しています。水の交換は月初めの仕事です。幸いにも使用する機会はありませんが、防災・減災対策は、『悲観的に準備して、楽観的に行動をする』のが鉄則。最悪を想定してこそ、本当の対策ではないでしょうか。」

水田さんの自助、共助の備え

- 一般的な非常持ち出し品(飲料水、食料、ラジオ、懐中電灯、救急袋、ライターなど)。
- 飲料水、炊事用水、雑水の3種類を計約1トン。
- 発電機:2800ワット、850ワットの2機。
- 備蓄燃料:灯油や練炭、カセットコンロなど。
- 救助道具:エンジンソウ、バール、投光機、カッター、のこぎり、その他。

他に鍋釜、備蓄食料、テント、寝袋、消火器、強力メガホン、ヘルメット、給水ポンプなど。

市では、自主防災組織の設立を促進するため、一定の要件を満たす自主防災組織に対し、補助金を交付します。詳しくは、市生活安全課(福岡庁舎)☎43・8107まで問い合わせください。

【広報ふくつ おしらせ版 平成23年10月15日号】

あなたのご意見をお聞かせください。

〒811-3293 福岡県福津市中央1-1-1 福津市役所広報秘書課広報広聴係(福岡庁舎)

☎0940・43・8113 FAX0940・43・3168 メール info@city.fukutsu.lg.jp

この広報誌は再生紙を使用しています。